

別記様式第1号

「現場の創意工夫プロジェクト」計画書

《プロジェクト名 菌床しいたけ肘折温泉朝市産直拡大プロジェクト》

市町村	大蔵村	対象地域	大蔵村塩・熊高	分野	園芸
実施主体名	大蔵生しいたけ部会	代表者氏名	林 貞夫	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	大蔵村大字清水5765-2
実施主体構成	2人				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	33,500千円（8,500千円）				
	独自の目標項目	菌床しいたけ7,500kgの産出量増加により肘折温泉朝市での流通拡大を図る。				
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）
	産出額	25,000千円	25,000千円	33,500千円	33,500千円	33,500千円
	独自の目標項目	生産量 22,500kg 朝市販売 350kg	22,500kg 350kg	30,000kg 525kg	30,000kg 525kg	30,000kg 525kg
プロジェクト概要	◎実施方針	肘折温泉朝市での流通拡大と市場確保を図るため、菌床しいたけの培養管理の徹底により生産拡大を行う。				
	○産出額の増大	温度管理と振動管理を上面発生栽培用台車により徹底して行い、1玉あたりの収量20%増量し、朝市での販売量1.5倍を目指す。				
	○雇用の創出	180人/日				
	○創意工夫	肘折温泉朝市に、出店しており固定客も増えている。現在の販売量は約3,600kg、また肘折温泉旅館にも年間約350kg販売している。しかし、お客様の購入要望があるが、現状では生産量が限られているため対応できない。朝市でのお客様に応えること及び市場出荷量を安定させるため、台車を導入することで、徹底した栽培管理作業を行い、培養室の限られた空間を有効活用し産出額増加を図っていく。				
	○実現性	長年、朝市で販売しており、現在は組合長として出店している。氏名買っていたいでいる湯治客などの固定客も多くなっている。また、平成15年より玉菌の生産から培養まで一貫して行っており、これまで培った培養技術を活かし生産拡大を図っていく。				
	○地域への波及効果	菌床しいたけ栽培は冬期の園芸作物として地域で認識されてきており、新規参入者への取り組みやすさも示していきたい。また、産出量を増やし肘折温泉旅館等への供給による地産地消の流通拡大につなげる。				
	○その他	本部会構成員や村外の農家にも玉菌を供給しており、品質の安定に寄与している。				

		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成 年度）
事業内容		上面発生栽培用台車導入 120台	